

教科	技術・家庭	分野	家庭	学年	第1学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準	
ガイダンス 自分の成長と家族・家庭生活	3	<p>小学校家庭科の学習を振り返るとともに、3学年間の学習内容の見直しをもつ。</p> <p>各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。</p> <p>自分の成長と家族や地域の人々とのかかわりと自分自身の理解を深める。</p> <p>家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。</p> <p>自分や家族の生活は家庭内外の活動が支えていることに気づく。</p> <p>家族には互いの立場や役割があり、協力することで関係をよりよくすることができることを理解する。</p>		<p>○知識・技能</p> <p>自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解している。</p> <p>家族や家庭の基本的な機能について理解している。</p> <p>家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。</p> <p>家族の立場や役割について理解している。</p> <p>家族と協力することにより家族関係をよりよくできることを理解している。</p> <p>○思考・判断・表現</p> <p>家族とのかかわりについて問題を見出して課題を設定している。</p> <p>家族とのかかわりについて解決策を構想し、実践を評価・改善したことを論理的に表現している。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>家族とのかかわりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しようとしている。</p> <p>よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し創造し、実現しようとしている。</p>	

教科	技術・家庭		分野	家庭	学年	第1学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
衣生活	8	<p>衣服の社会生活上の働きがわかる。</p> <p>自分らしい着方を工夫することができる。</p> <p>和服の文化に関心を持ち、和服の特徴を知る。</p> <p>自分の衣服計画が立てられる。</p> <p>既製服を選ぶポイントがわかる。</p> <p>衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。</p> <p>取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。</p> <p>衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。</p> <p>衣服の傷みに合わせた方法で補修ができる。</p> <p>衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切にすることができる。</p> <p>資源や環境に配慮した衣生活を送るために工夫できることを考える。</p>		<p>○知識・技能</p> <p>衣服と社会生活とのかかわりについて理解している。</p> <p>目的に応じた着用について理解している。</p> <p>衣服と社会生活とのかかわりについて理解している。</p> <p>衣服の計画的な活用の必要性について理解している。</p> <p>衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解しているとともに、適切に手入れできる。</p> <p>社会や環境に配慮した衣生活について問題を見出し、課題を設定している。また、それについて考え、工夫している。</p> <p>○思考・判断・表現</p> <p>衣服の選択について問題を見出して課題を設定している。</p> <p>衣服の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>日常着の手入れについて問題を見出して課題を設定している。</p> <p>日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>衣服の選択について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。</p> <p>日常着の手入れについて課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>よりよい生活の実現に向けて、日常着の手入れについて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>よりよい衣生活を目指して衣服の選択や手入れ、製作などについて、工夫し、創造し、実践しようとしている。</p>		

# 令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭		分野	家庭	学年	第1学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
生活を豊かにする物の製作	8	布を用いて生活を豊かにするものを考える。 製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものを作る。		○知識・技能 製作するものに適した材料や縫い方について理解している。また、用具を安全に扱い、適切に製作することができる。 ○思考・判断・表現 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を使ったものの製作計画や製作について問題を見出し、解決策を構想し、実践を評価、改善し考察したことを論理的に表現している。 ○主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活の実現に向けて生活を豊かにするための製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして生活を工夫、創造し、実践しようとしている。		

教科	技術・家庭	分野	家庭	学年	第1学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容	単元のまとまりの評価規準		
住生活	8	<p>住まいの基本的な役割について理解する。</p> <p>日本の伝統的な住まいの特徴を知る。</p> <p>住まいの空間の使い方について理解する。</p> <p>様々な生活によって住まい方の工夫があることを理解する。</p> <p>家庭内事故の種類とその原因を知る。</p> <p>幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。</p> <p>様々な災害に備えて室内を安全に整備する必要性とその方法について理解する。</p> <p>持続可能な社会の実現に向けて様々な住まいや住まい方の工夫があることを知る</p>	<p>○知識・技能</p> <p>住居の基本的な機能について理解している。</p> <p>家族の生活と住空間とのかかわりについて理解している。</p> <p>家庭内の事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p> <p>自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。</p> <p>○思考・判断・表現</p> <p>住生活について問題を見出して課題を設定している。</p> <p>家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>社会や環境を配慮した住生活について問題を見出し、課題を設定している。また、考え工夫している。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。</p>		

教科	技術・家庭		分野	家庭	学年	第2学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
食生活	20	<p>生鮮食品の特徴がわかる。 目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。</p> <p>加工食品の特徴がわかる。 目的に応じて加工食品を選択・保存できる。</p> <p>食品の選択において、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。</p> <p>調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。</p> <p>おいしさと調理の関係や調理における衛生・安全を理解し、実践できるようにする。</p> <p>肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。</p> <p>魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。</p> <p>野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。</p> <p>地域で生産される食材を知りそれを使う意義と和食の調理について理解する。</p> <p>持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</p>		<p>○知識・技能 日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品や加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切に選択できる。 肉、魚、野菜に適した加熱の仕方について理解しているとともに基礎的な日常食の調理が適切にできる。 地域の食文化について理解しているとともに地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 1日分の献立を作成する方法について理解している。</p> <p>○思考・判断・表現 食品の選択について問題を見出して課題を設定している。 食品の選択について解決策を構想し、実践を評価、改善し、考察したことを論理的に表現している。 日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見出して課題を設定している。 日常の1食分の調理の仕方や計画について解決策を構想し、実践を評価、改善し、考察したことを論理的に表現している。 和食の調理について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 中学生の1日分の献立について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 社会や環境に配慮した食生活について問題を見出して課題を設定している。 社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 食品の選択について、課題の実践に主体的に取り組んでいる。 よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について振り返って改善し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 日常の1食分の調理について、振り返って改善し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 和食の調理について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 中学生の1日分の献立について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 よりよい食生活を目指して食事の役割や栄養、献立、調理などについて工夫し、創造し、実践しようとしている。</p>		

# 令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭		分野	家庭	学年	第2学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
生活を豊かにする物の製作	7	<p>布を用いて生活を豊かにするものを考える。 製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものを作る。 布を用いて生活を豊かにするものを考える。 製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものを作る。</p>		<p>○知識・技能 製作するものに適した材料や縫い方について理解している。また、用具を安全に扱い、適切に製作することができる。</p> <p>○思考・判断・表現 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を使ったものの製作計画や製作について問題を見出し、解決策を構想し、実践を評価、改善し考察したことを論理的に表現している。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活の実現に向けて生活を豊かにするための製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして生活を工夫、創造し、実践しようとしている。</p>		

教科	技術・家庭		分野	家庭	学年	第2学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
消費生活	8	<p>物資とサービスの特徴がわかる。</p> <p>消費生活の仕組みがわかる。</p> <p>収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理をする必要があることがわかる。</p> <p>店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。</p> <p>売買契約について問題発生の原因や予防方法を理解する。</p> <p>即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。</p> <p>生活情報の収集や活用の仕方を理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。</p> <p>消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。</p> <p>消費者を支える仕組みについて理解できる。</p> <p>消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者を目指す。</p> <p>購入を通して消費者の行動が環境に与える影響を理解する。</p> <p>環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。</p> <p>持続可能な生活にするために自分たちができることを考える。</p>		<p>○知識・技能</p> <p>物資とサービスについて理解している。</p> <p>購入方法や支払い方法の特徴がわかり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。</p> <p>売買契約の仕組みについて理解している。</p> <p>支払方法の特徴がわかる。</p> <p>物資やサービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>消費者被害の背景とその対応について理解している。</p> <p>消費者の基本的な権利と責任について理解している。</p> <p>自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p> <p>○思考・判断・表現</p> <p>物資やサービスの購入について問題を見出して課題を設定している。</p> <p>設定した課題について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>自立した消費者としての消費行動について問題を見出して課題を設定している。</p> <p>自立した消費者としての消費行動について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>物資やサービスの選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>消費者被害の対応について課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>よりよい生活の実現に向けて消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>		

教科	技術・家庭	分野	家庭	学年	第3学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準	
幼児の生活と家族	13.5	<p>幼児期への関心を持つ。                      幼児の身体の発育について、                      発達の方向性や順序性ととも                      に個人差があることを理解す                      る。                      幼児の言語・認知・情緒・社会                      性等の発達について理解す                      る。                      子どもが育つ環境としての家族                      や周りの大人の役割について                      理解する。                      幼児にとって遊びの意義を理                      解する。                      十分な遊びを経験できる環境                      の重要性を理解する。                      幼児と触れ合うときの留意点を                      理解する。                      幼児とのかかわり方について                      身に付けた基礎的な知識を活                      用し、幼児と触れ合う。                      幼児とのかかわり方について                      感じたことや考えたことを話し                      合い、理解を深める。                      子どもの成長と地域とのつなが                      りをしり、地域の中で中学生が                      できることを考える。</p>		<p>○知識・技能                      幼児の身体や心の発達の特徴について理解している。                      子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。                      幼児にとっての遊びの意義について理解している。                      幼児とのかかわり方について理解している。                      子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。                      ○思考・判断・表現                      幼児とのかかわり方について問題を見出し、課題を設定している。                      幼児とのかかわりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。                      ○主体的に学習に取り組む態度                      幼児とのかかわり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。                      幼児とのかかわり方について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようと                      している。                      よりよい生活のために幼児とのかかわり方について生活を工夫、創造し、実践しようと                      している。                      ○知識・技能                      家庭生活は地域とのかかわりで成り立っていることを理解している。                      高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。                      介護など高齢者とのかかわり方について理解している。                      ○思考・判断・表現                      地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見出して課題を設定している。                      設定した課題について解決策を構想している。                      高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現して                      いる。                      社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。                      ○主体的に学習に取り組む態度                      家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて家族・家庭や地域との関わり                      について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。                      高齢者とのかかわり方について課題の解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しよ                      うとしている。                      持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて工夫創造し、実践しようと                      している。</p>	

教科	技術・家庭		分野	家庭	学年	第3学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
家庭生活	4	<p>家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解する。</p> <p>地域で様々な人々が暮らせるための工夫を理解する。</p> <p>地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者など様々な高齢者がいることを理解し、高齢者とのかかわりを考える。</p> <p>誰もが尊重される家庭・地域の生活を目指して、課題をみつけ、実践的に取り組む。</p>		<p>○知識・技能</p> <p>家庭生活は地域とのかかわりで成り立っていることを理解している。</p> <p>高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。</p> <p>介護など高齢者とのかかわり方について理解している。</p> <p>○思考・判断・表現</p> <p>地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見出して課題を設定している。</p> <p>設定した課題について解決策を構想している。</p> <p>高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて家族・家庭や地域との関わりについて課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>高齢者とのかかわり方について課題の解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しようとしている。</p> <p>持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて工夫創造し、実践しようとしている。</p>		